

SAI KI REN

埼危連

No.17

令和8年8月10日発行

公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会

発行者 会長 小寺 崇夫 印刷 (株)櫻井印刷所

目次

ご挨拶 公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会 会長 小寺崇夫	1
令和8年度通常総会開催	2
埼玉県危険物事故防止連絡会	2
令和8年度埼玉県危険物安全講演会	2
危険物安全功労者表彰	3
埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰	3
1 優良危険物事業所	4
2 優良危険物取扱者	4
3 優良普及啓発活動	5
リチウムイオン蓄電池の特性と発火原因について	
危険物保安技術協会 企画部企画課 課長代理 熊本健志 氏	6
令和7年度 事業報告・決算報告	10
令和7年度事業報告	10
令和7年度決算報告	11
令和8年度 事業計画・収支予算	14
令和8年度事業計画	14
令和8年度収支予算	15
会員名簿	16
役員名簿	17
令和8年度危険物取扱者保安講習のご案内	18
令和8年度危険物取扱者試験準備講習会のご案内	18

長瀬船玉まつり(表紙写真) とラインくだり(長瀬町)

長瀬船玉まつりは秩父路の夏の風物詩として毎年約7万人の人出で賑わいます。船下りの船頭が水上の安全を祈願して水神様をお祀りしたのがその始まりとされています。灯籠が荒川へ流され、提灯をつけた船が水上に浮かび、夜になると対岸から例年3,000発を超える花火が打ち上げられ、美しさと迫力に多くの観客が拍手を送ります。

長瀬の中心地には、隆起した結晶片岩が文字どおり畳を敷き詰めたかの様に岩畳が広がります。秩父対岸には秩父赤壁と呼ばれる絶壁があります。

このダイナミックな自然のスクリーンを眺めながら瀬や淵と表情を変え荒川を豪快にすべるのが長瀬ラインくだり。蛇行する緩急の流れの楽しさはもとより長瀬の自然が創りあげた芸術品ともいえる景観はまさに息をのむ美しさです。若い船頭さんからベテラン船頭さんが、巧みに竿をさばきながら、それぞれ個性溢れるガイドでラインくだりを一層楽しませてくれます。

(写真提供: 一般社団法人長瀬町観光協会)



ご 挨 拶



公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会
会長 小寺 崇夫

日ごろ、当連合会の事業の推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、去る5月13日に開催された通常総会、臨時理事会における役員改選で当連合会会長に再選され、就任いたしました。もとより微力ではありますが、役員一同、全力を尽くす所存でございますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、近年、地域の安全を脅かす予測を超えた災害や事故が、日本各地で頻発しております。埼玉県内でも、今年二月に、秩父市内において大規模な山林火災が発生いたしました。日頃からこうした災害を想定した対策を心がけていかなければなりません。

私たちが関わる危険物施設は、社会生活を豊かに営む上で欠かせないものですが、ひとたび事故が発生しますと、多くの生命や財産を失うとともに、周辺地域にも環境汚染等大きな影響を及ぼすおそれがあります。

災害は必ず起きることを前提に、しっかりと安全確保の対策を立て、危険物の保安管理の充実・強化に取り組む必要があります。

「自らの安全は自らの手で守る」という自主防災の実現のために、「民による公益の増進」の一翼を担う公益法人として当連合会の果たすべき役割は、益々大きなものがあると認識しているところです。

当連合会におきましては、危険物安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者保安講習、危険物取扱者試験準備講習会などを実施し、防災意識の高揚と危険物取扱者の資質向上を図り、危険物事故の撲滅のため更なる努力を重ねて参る決意でございます。

皆様方には、これまでも増して、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

**つかみ取れ！
めざす
無事故の頂を**

(令和8年度危険物安全週間推進標語)



令和8年度通常総会開催

令和8年度通常総会を、令和8年5月13日、さいたま市のブリランテ武蔵野で開催しました。

第1号議案「令和7年度事業報告について」及び第2号議案「令和7年度収支決算について」事務局から説明があり、承認されました。(10頁～13頁参照) また、第3号議案「令和8年度会費について」及び第4号議案「任期満了等に伴う次期役員の選任について」も原案のとおり可決されました。

また、総会後の臨時理事会で、会長に小寺理事、副会長に高橋理事、入理事、麻原理事が再任され、新たに、青木理事が副会長に、杉野理事が常務理事に選任されました。新しい体制は、役員名簿(17頁)をご覧ください。



しています。

危険物施設別にみると、過去10年間で最も多いのは給油取扱所で343件、次いで一般取扱所が61件、製造所が16件の順となっています。また、令和7年における危険物施設別の事故発生危険性(危険物施設1,000施設あたりの事故件数)においても、給油取扱所が24.3と最も高くなっています。

過去10年間の危険物事故の発生原因を人的要因、物的要因及びその他要因に区分した場合、最も多いのが物的要因の破損でした。これは主に給油取扱所において顧客の運転操作ミスにより、施設の破損や危険物の流出が生じたケースです。人的要因では操作確認不十分が最も多くなっています。

事故防止連絡会では、県内で発生した事故事例について、事故の原因や対策等を整理し、埼玉県のホームページで紹介しています。今回、「給油取扱所における燃料タンクへの直接給油について」を新たに作成し掲載しています。

是非、ホームページをご覧ください、事故防止の参考にしてください。

《 埼玉県危険物事故防止連絡会 》

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0404/kikenbuturenrakukai.html>

埼玉県危険物事故防止連絡会

埼玉県消防課長が座長となり、当連合会副会長、さいたま市消防局長、消防長会各ブロック代表消防長等で構成される埼玉県危険物事故防止連絡会が、令和8年6月12日にWebでの参加も含め埼玉県危機管理防災センターで開催されました。

会議では、まず、県消防課から埼玉県内の危険物事故発生状況について報告がありました。

埼玉県内の危険物施設数は、令和7年3月末時点で11,828施設となっており、引き続き減少傾向にあります。

県内で発生した危険物に係る事故件数は、令和7年は63件。その他(主に破損)の事故件数が多く、近年40件台で推移しています。火災と流出を合わせた件数は、近年20件前後で推移

令和8年度埼玉県危険物安全講演会

令和8年度埼玉県危険物安全講演会が、令和8年6月12日、埼玉県、危険物事故防止連絡会と当連合会の共催により開催されました。

講師に、危険物保安技術協会 企画部企画課課長代理 熊本健志氏をお迎えし、「リチウムイオン蓄電池の発火原因と火災事故事例について」と題して講演いただきました(6頁～9頁参照、講演内容編集の上改題)。今年度も、埼玉県公式限定公開セミナー動画がYouTubeチャンネルにより6月19日から7月21日までの間配信されました。

各協会から会員事業所等に情報提供いただくなど、多くの方々に講演会を御視聴いただきました。ありがとうございました。

危険物安全功労者表彰

令和8年5月13日の当連合会通常総会にあわせて行われた表彰式において、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰及び関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰の伝達が、埼玉県危機管理防災部長 武澤 安彦 様のご臨席のもと行われました。

また、このたびの通常総会をもって退任された連合会役員へ、小寺会長から感謝状が贈られました。

表彰された皆様、誠にありがとうございます。また退任された役員におかれましては、たいへんご苦勞様でございました。



小寺会長からお一人お一人に、表彰状・感謝状が手渡されました。

令和8年度危険物安全大会は、6月8日、東京都港区のニッショーホールにおいて開催され、危険物保安功労者に対して、消防庁長官表彰及び（一財）全国危険物安全協会理事長表彰が行われました。

令和8年度安全功労者総務大臣表彰の表彰式は、7月10日、総務省において行われました。

それぞれ受賞者は次の方々です。（敬称略）
皆様、たいへんおめでとうございます。



安全功労者総務大臣表彰

新座市防火安全協会会長 並木 重和

消防庁長官表彰

○優良危険物関係事業所

小宗化学薬品株式会社

代表取締役 小林 正信

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

入間東部地区防火安全協会会長 大曾根 豊
志木市保安防火安全協会会長 高橋 英明

○優良危険物関係事業所

東京化成工業株式会社 深谷工場
執行役員工場長 鈴木 博之

○感謝状

前越谷市防火安全協会会長 井橋 吉一

関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰

○協会発展と災害防止功労

草加市防火協会副会長	松田 善一
新座市防火安全協会副会長	須田 隆喜
上尾伊奈防火安全協会副会長	川田 孝司
日高市防火安全協会副会長	駒井 秀章
久喜地区防火安全協会副会長	柏浦 茂

○諸設備の充実と安全管理功労

埼玉養蜂株式会社 北本工場
クラフツ株式会社 埼玉工場
有限会社山崎商会
株式会社本田技術研究所
ポーライト株式会社 熊谷工場
日新工業株式会社 埼玉工場
株式会社騎西運輸倉庫

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰

○感謝状

小川 均	前埼玉連理事
加藤 正幸	前埼玉連理事
牧 光治	前埼玉連常務理事

○優良危険物事業所

○優良危険物取扱者

○優良普及啓発活動

次ページに続く

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰（続き）

1 優良危険物事業所

危険物施設において、危険物施設の安全管理に努め、他の模範となる事業所

No.	事業所	地域
1	一般財団法人 日本色彩研究所	さいたま市
2	田中産業株式会社	〃
3	東京通商株式会社 Dr.Drive 県南卸売団地給油所	〃
4	株式会社 U D S うらわ自動車教習所	川口市
5	株式会社 シライシ 川口伊刈給油所	〃
6	株式会社 中澤自動車運輸	〃
7	中村運輸株式会社	比企地区
8	アドニス小川カントリー倶楽部	〃
9	有限会社 宮沢燃料	〃
10	三興石油有限会社	上尾伊奈
11	コスモ石油販売株式会社 西関東カンパニーS&CCS伊奈	〃
12	株式会社 サイケイベストステーション21	所沢市
13	DOWAハイテック株式会社	児玉郡市
14	株式会社 ジョイアス・フーズ児玉工場	〃
15	貫井観光開発株式会社 埼玉国際ゴルフ倶楽部	〃
16	ショーボンドマテリアル株式会社	川越地区
17	東洋インキ株式会社 埼玉製造所	〃
18	笹岡商店	〃
19	株式会社 川村興産	〃
20	株式会社 イハシエネルギーセルフ川越石原営業所	〃
21	株式会社 拓殖商事	羽生市
22	大谷塗料株式会社	飯能地方
23	岡部チサンカントリークラブ	深谷寄居
24	秩父鉄道株式会社 寄居駅	〃
25	つかもと燃料	〃
26	埼玉縣信用金庫	熊谷市
27	有限会社 堀口石油	〃
28	株式会社 エネクル エネクル狭山	狭山市
29	株式会社 鴻巣自動車教習所	鴻巣市
30	花岡車輛株式会社 埼玉鴻巣工場	〃
31	ニッコー株式会社 水創り事業部	行田市
32	株式会社 マルブン埼玉事業所	〃
33	浅見興業株式会社	西入間広域
34	中央エアゾール化学株式会社	幸手市
35	エネクスフリート株式会社 ルート4越谷店	越谷市
36	株式会社 ENEOS モビリア 埼玉支店 Dr.Drive セルフ越谷総合公園店	〃
37	あみ印食品工業株式会社 埼玉工場	杉戸町
38	株式会社 ウジケ	春日部市
39	斉田燃料株式会社	〃
40	太陽鉱油株式会社 16号線春日部サービスステーション	〃
41	有限会社 滝本商店	〃
42	株式会社 宮本陸運	〃
43	株式会社 健康豆元	加須市
44	有限会社 大堀商会	〃

No.	事業所	地域
45	堀川産業株式会社	草加市
46	吉原鉄道工業株式会社 久喜工場	久喜地区
47	興洋化学株式会社 久喜工場	〃
48	扇屋塗料株式会社	戸田市
49	ザ ナショナルカントリー倶楽部 埼玉	秩父
50	センター物流有限会社 吉川営業所	吉川松伏
51	東武バスウエスト株式会社 新座営業事務所	新座市
52	大生運輸株式会社	〃
53	株式会社 錦江	三郷市
54	関東コンクリート株式会社	八潮市
55	有限会社 石田石油	入間市
56	社会福祉法人 入間福祉会 特別養護老人ホーム扇揚苑	〃
57	株式会社 どばし	蓮田市
58	株式会社 SUBARU 群馬製作所北本工場	北本市
59	関東菱油 株式会社 Dr.Drive セルフ桶川西店	桶川市
60	大幸製菓協業組合	〃
61	東京福山通運株式会社 坂戸支店	坂戸・鶴ヶ島
62	富士見物流 株式会社	白岡市
63	興亜産業株式会社 鶴ヶ島工場	〃

2 優良危険物取扱者

危険物の安全管理について、特に顕著な功労があり、他の模範となる危険物取扱者

No.	氏名	事業所	地域
1	野村 和清	株式会社 ADEKA 浦和開発研究所	さいたま市
2	谷岡 早人	株式会社 北川鉄工所 東京工場	〃
3	丸岡 秀行	関東菱油株式会社 Dr.Drive サザン浦和店	〃
4	廣木 恵	アドリヤ石油株式会社	川口市
5	稲垣 正	稲垣鋳物材料株式会社	〃
6	島根 偉夫	有限会社 島根鋅油	〃
7	松澤 良一	株式会社 松澤塗装工業所	〃
8	森田 雅典	城北伸鉄株式会社 東松山工場	比企地区
9	二宮 雅史	株式会社 中本印書館	〃
10	石川 秀樹	東所沢スポーツクラブ	所沢市
11	高橋 健二	埼玉ひびきの農業協同組合 神川スタンド	児玉郡市
12	権藤 覚	山下ゴム株式会社 研究開発センター	〃
13	古谷 弘美	熊前商店	羽生市
14	大和 弘典	有限会社 弘和塗料商会	飯能地方
15	長谷川 拓也	オリエンタルメタル株式会社 熊谷工場	熊谷市
16	武田 博	武田商店 ナード熊谷 S S	〃
17	白井 洋介	スポーツクラブ I - F A	狭山市
18	羽鳥 優治	株式会社 羽鳥紙工所	行田市
19	中野 実	株式会社 栗原商店	〃
20	柴田 清	公益社団法人 埼玉県農林公社	〃
21	矢塚 大輔	株式会社 伸和熱処理	朝霞市
22	大友 裕次	日本産業株式会社 日本カントリークラブ	西入間広域
23	田中 一貴	株式会社 イハシエネルギーセルフ越谷総合公園営業所	越谷市
24	因埜 俊則	株式会社 ENEOS モビリア 埼玉支店 Dr.Drive セルフ高野台店	杉戸町

No.	氏 名	事 業 所	地 域
25	野口 輝秀	フリージアマクロス株式会社	加 須 市
26	山本 邦幸	株式会社スカイ	〃
27	吉木 幹男	ハリマ化成株式会社 東京工場	草 加 市
28	柴山 賢治	関東技研フ ォーム株式会社	久 喜 地 区
29	伊藤 信行	秩父第一中学校 共同調理場	秩 父
30	扇原 靖夫	扇原商店	〃
31	菅澤 正法	株式会社 森プロパン	三 郷 市
32	岩井 菊之	有限会社 菊水堂	八 潮 市

3 優良普及啓発活動

危険物安全管理思想の啓蒙及び普及において、特に顕著な功労があり、他の模範となる個人、団体又は事業所

No.	個人・団体・事業所	地 域
1	関口工業株式会社	さいたま市
2	有限会社上州屋リビング	〃
3	朝日容器工業株式会社 浦和工場	〃
4	須賀 義幸(有限会社スノー工業)	川 口 市
5	上西 一志(老川工業株式会社)	〃
6	荻原 勝治(有限会社荻原商店)	〃
7	鈴木 成夫(埼玉県南液化瓦斯事業協同組合)	〃
8	川中子 裕(株式会社南北伸銅所)	〃
9	社会福祉法人童会 桃の木保育園	比 企 地 区
10	大沢精密工業株式会社	上 尾 伊 奈
11	佐藤自動車整備株式会社	〃
12	末廣 正志(三井住友金属鉱山伸銅株式会社)	〃
13	高橋自動車株式会社	児 玉 郡 市
14	医療法人桂水会 岡病院	〃
15	医療法人福島会 彩北病院	〃
16	埼玉縣信用金庫川越支店	川 越 地 区
17	医療法人愛和会愛和病院	〃
18	いるま野農業協同組合川越地域	〃
19	株式会社カインズ カインズ飯能店	飯 能 地 方
20	金井商店	深 谷 寄 居
21	田嶋窯業有限会社	〃
22	株式会社深澤商店	深 谷 寄 居
23	野口商店 野口江南 S S	熊 谷 市
24	有限会社吉沢油店	〃
25	株式会社倉本産業 狭山工場	狭 山 市
26	株式会社 武蔵野	朝 霞 市
27	医療法人山柳会あさか相生病院	〃
28	株式会社 奥山都市設計	〃
29	学校法人 村田学園 とさわぎこども園	西 入 間 広 域
30	高田製薬株式会社幸手工場	幸 手 市
31	埼玉縣信用金庫越谷支店	越 谷 市
32	ホクブトランスポート株式会社 埼玉支店	杉 戸 町
33	医療法人 藍生会 介護老人保健施設 ケア・ビレッジ シャローム	加 須 市
34	株式会社サトー	〃
35	学校法人 溪学園 かおりKaruna認定こども園	草 加 市

No.	個人・団体・事業所	地 域
36	村田 繁(株式会社トーツヤ・エコー)	戸 田 市
37	株式会社井上活版	秩 父
38	伊藤運輸倉庫株式会社	蕨
39	株式会社食堂会館やまがたや	〃
40	学校法人早蕨学園 早蕨幼稚園	〃
41	ロヂャース新座店	新 座 市
42	OSCデオシティ新座	〃
43	安全装備株式会社 和光営業所	和 光 市
44	岡谷物流株式会社 埼玉和光事業所	〃
45	医療法人社団武蔵野会 TMG宗岡中央病院	志 木 市
46	アー克蘭ズ株式会社 ビバホーム志木店	〃
47	社会福祉法人 緑風会	三 郷 市
48	医療法人社団愛友会 三郷中央総合病院	〃
49	株式会社ヒロタ防災	八 潮 市
50	有限会社旭自動車商会	入間東部地区
51	有限会社みずほ精機	〃
52	トラベルネット株式会社	〃
53	有限会社渡辺石油	〃
54	大畑 善夫(大畑電研株式会社)	蓮 田 市
55	協和精工株式会社埼玉事業所	〃
56	有限会社丸山製作所	〃
57	株式会社高輪製作所	北 本 市
58	株式会社コモディイイダ 坂戸につさい店	坂戸・鶴ヶ島
59	株式会社あすか企画 坂戸ホテル	〃
60	マチダコーポレーション株式会社 埼玉事業所	白 岡 市
61	株式会社ガスワン埼玉 日高営業所	日 高 市

リチウムイオン蓄電池の特性と発火原因について

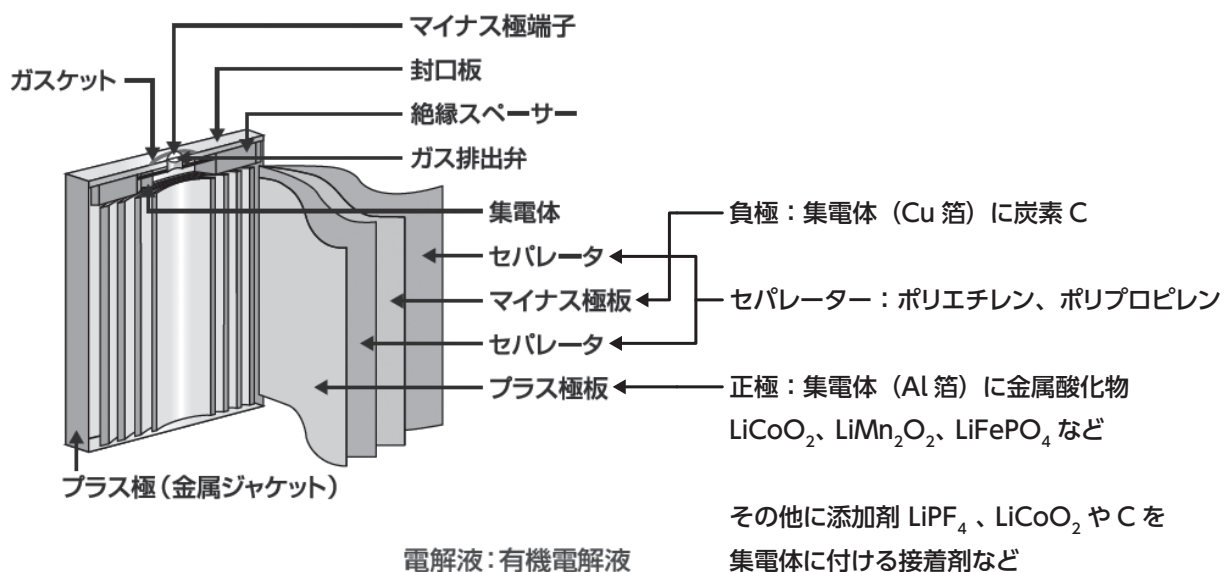
危険物保安技術協会
企画部企画課 課長代理 熊本 健志 氏

1. リチウムイオン蓄電池の構造と材質

リチウムイオン蓄電池の構造及び材質について、正極は集電帯であるアルミ箔の上に金属酸化物(コバルト酸リチウム等)が塗布されています。負極は集電帯である銅箔の上に炭素(薄いカーボン)が塗布されています。正極、負極を絶縁するためにセパレーターがかまされています。セパレーターの材質はポリエチレンやポリプロピレンのプラスチックフィルムが主流です。

また、安全対策として、電池の上部にガス排出弁が設けられています。電解液に揮発性の可燃性液体を使用していることから、電解液の温度上昇に乗じて内圧が上昇したときにガス排出弁が開き外部に排出できる構造となっています。

その他、添加剤としてリンフッ化リチウムなどが使用されています。



出典：電池工業会サイト
<https://www.baj.or.jp/battery/knowledge/structure.html>

2. リチウムイオン蓄電池の燃焼性状

総務省消防庁主催の「リチウムイオン電池に係る危険物施設の安全対策の在り方に関する検討会」報告書にリチウムイオン蓄電池の燃焼実験の様子が掲載されています。

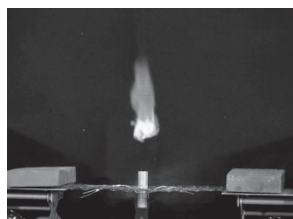
具体的には、市場に多く流通している単電池タイプ(18650(電解液が2cc程度収納されている))を使用し、(1)封口前の電解液の燃焼性状(上部が開放している蓄電池に電解液を収納した状態でバーナーで加熱する)、(2)充電率が100%の状態における燃焼性状、(3)充電率が50%の状態における燃焼性状(流通段階では最高の充電率と考えられる)、以上3つの燃焼試験の様子が掲載されていることから紹介します。

(1) 封口前の電解液の燃焼性状

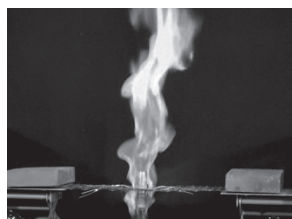
2 mlの電解液を18650の容器に入れ、下部からブンゼンバーナーで加熱した。結果として、加熱されることにより揮発した電解液にブンゼンバーナーの火が引火して燃焼開始し、電解液がなくなると燃焼は終了したと推察される。燃焼の性状としては、液体燃料(ガソリン、灯油、軽油)等とほぼ同じであることが見てとれる。



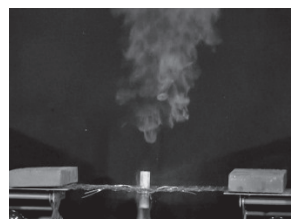
加熱開始



6秒後



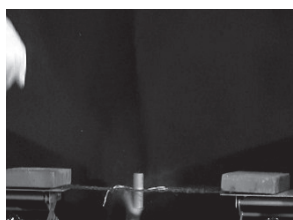
7秒後



18秒後

(2) 充電率が100%の状態における燃焼性状

加熱開始から13秒でガス排出弁が開き揮発した電解液に引火したと推察される。すぐに火花を出して激しく燃焼。1秒後には破裂し、24秒後に燃焼は終了している。



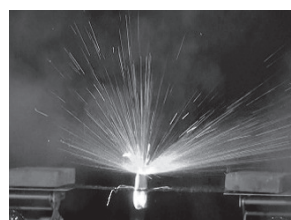
加熱開始



13秒後



13~14秒後



13~14秒後



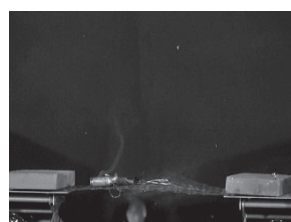
14秒後



14秒後の直後



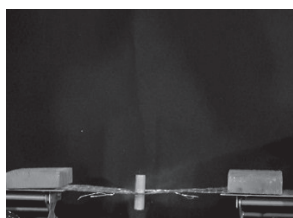
14秒後の直後



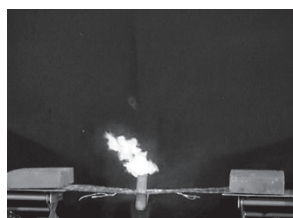
24秒後

(3) 充電率が50%の状態における燃焼性状

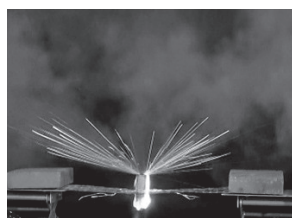
23秒でガス放出弁が開き揮発した電解液に引火したと推察される。火花を出して燃焼後、53秒後に燃焼は終了している。



加熱開始



23秒後



25秒後



26秒後



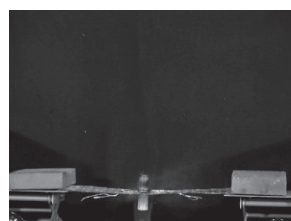
27秒後



28秒後



30秒後



53秒後

充電率が高い方が激しく燃焼していることが見て取れます。なお、燃焼実験は平成23年当時に行われたものであり、現在はより多くのエネルギーをため込める構造(より激しく燃焼する)に進化していると推察します。

3. 酸化物が電極に設けられているということ

金属酸化物が電極に用いられていることの意味、燃焼の側面から見たリスクについて、黑色火薬の化学反応を例に説明いたします。

黑色火薬の化学反応の例



上記化学式を解説すると、

固体の硝酸カリウム(KNO_3)、硫黄(S)及び炭素(C)が反応すると、固体の炭酸カリウム($2\text{K}_2\text{CO}_3$)、固体の硫酸カリウム(K_2SO_4)、気体の二酸化炭素(CO_2)及び窒素(N_2)が発生するといったものです。

物理的な側面からは、1.2gの固体(黑色火薬)から0.8gの固体と2.5Lの気体(実際は熱膨張のためもっと増えることが予想される)が発生します(体積は2,500倍になります。)

また、この化学反応には空気中の酸素が関与しておらず、リチウムイオン蓄電池から出火する際、電池の内部で同様の反応が発生します。

4. 出火の原因

(1)内部短絡

集電帯同士が接触(短絡)することにより通電し、高温による反応が起こり暴走反応へ進行します。

その後、電解液の分解、セパレーターの加熱分解、正極のアルミニウム泊の燃焼、負極の炭素の燃焼というロジックで暴走反応が生じます。

この場合、燃焼に使われる酸素は金属酸化物(LiCoO_2 、 LiMn_2O_2 、 LiFePO_4)から供給されます。(Mn系、Fe系は結晶構造が強固であり、反応しにくいといわれています。)

繰り返しになりますが、充電率(SOC, State of charge)が高いほど激しく燃焼します。

(2)外部加熱

外部加熱により電池の温度が上昇すると、セパレーターの融解が始まります。高密度ポリエチレンのセパレーターであれば、135~145℃程度、ポリプロピレンであれば170℃程度で融解が始まります。

セパレーターが融解すると一旦通電が停止しますが、その後も温度上昇が続くと、通電停止を維持できなくなります。融解で流動し、両極が接触すると内部短絡となります。そして、約

200℃以上になると、高分子物質の熱分解が生じ、ポリエチレン、ポリプロピレンの分解物として可燃性ガス(炭化水素)が発生する。

更に温度が上昇すると、電極の分解が始まります。正極の金属酸化物、例えばコバルト酸リチウムであれば、220℃前後から分解が生じるといわれており、分解の際に酸素を発生します。

更に温度が上昇すると、次のように電池内部の様々なものが燃焼・熱分解を開始します。

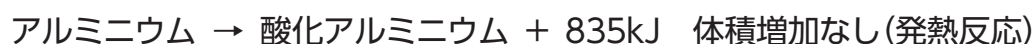
負極の炭素



セパレーター



アルミニウム



燃焼の最高温度は、集電帯のCuが融けずに残存していることから高くとも800～900℃程度と考えられます。

5. まとめ

リチウムイオン蓄電池は電解液に引火性液体を使用しています。引火性液体は消防法により危険物に指定され、規制対象となっています。また、電解液は低沸点の化合物であり、加熱により液体が揮発することで内圧が上昇します。

正極に金属酸化物が使用されています。(例：コバルト酸リチウム LiCoO_2 。最近ではコバルト以外の金属酸化物もあり)

負極の黒鉛、正極集電体のアルミニウム箔、及び残存電解液が金属酸化物の酸素により、空気に触れなくとも燃焼を起こします。

中でもアルミニウムの燃焼は極めて高温の発熱を生じ、黒鉛の燃焼は、高温と大きな体積膨張を伴います。

電解液の低沸点化合物は、初期のうちに揮発や燃焼してしまいます。また、容量が少なく、電解液だけで大きな火災になることは考えにくい。内容物の化学物質が上記のように高温の発熱と燃焼が並行して生じる化学反応を起こすことがリチウムイオン蓄電池の燃焼の特性であると推察されます。

なお、この燃焼現象は散水による温度低下で反応、発熱を抑えることが可能です。

各行政機関がリチウムイオン蓄電池の火災・延焼の低減に尽力しているところですが、流通量の多さから、今後も火災が頻発することが予想されます。

本編を通して、リチウムイオン蓄電池の構造および特性を理解いただくことで、今後の現場対応並びに火災予防の一助となれば幸いです。

令和 7 年度 事業報告・決算報告

令和 7 年度 事業 報 告

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日)

消防法に基づく危険物に起因する災害防止を目的として、安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者の資質向上の促進を図るため、保安講習並びに危険物取扱者試験準備講習会などを実施した。

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

- ア 機関誌「埼危連」第 16 号の発行 8,300 部
- イ 危険物安全講演会の開催（埼玉県と共催） 講演動画の配信による開催
- ウ 危険物安全ポスターの配布 6,570 枚
- エ リーフレット 21,000 部
- オ 表彰

危険物の安全管理に努め、他の模範となる事業所などの会長表彰を行うとともに、安全功労者総務大臣表彰などの対象者の推薦を行った。

・連合会会長表彰 159 個人・事業所

・総務大臣表彰、消防庁長官表彰、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰等の推薦

- カ 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業 休止

- キ インターネットを活用した普及啓発

連合会の実施事業をホームページに掲載し、危険物安全管理思想の普及啓発に努めた。

(2) 講習等事業

- ア 危険物取扱者準備講習会 実施回数 24 回 受講者数 770 人
- イ 危険物取扱者保安講習 会場開催実施回数 23 回 オンライン実施回数 7 回
受講者数 6,535 人

2 収益事業

テキスト等販売事業

- ア 危険物取扱者試験準備用テキストの販売 2,678 部
- イ 地下タンク等点検済証の販売（移動貯蔵タンク含む） 2,140 枚

3 法人会計

(1) 諸会議の開催

- ア 総会 令和 7 年 5 月 14 日（ブリランテ武蔵野）
- イ 理事会 5 回
- ウ 正副会長打合せ会議 6 回
- エ 監事監査
- オ 事務局長会議 2 回
- カ 表彰選考委員会
- キ 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業選定委員会 休止
- ク 会長研修会
- ケ 協会事務担当職員研修会

(2) 県内関係団体との連携

- ア 地区協会周年記念式典への参加
- イ 埼玉県消防長会・消防救助技術指導会への参加

(3) 埼玉県危険物事故防止連絡会

(4) 他団体との連携

- ア （一財）全国危険物安全協会
- イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会

令和 7 年 度 決 算 報 告

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日)

貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,519,973	4,102,097	1,417,876
流動資産合計	5,519,973	4,102,097	1,417,876
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	16,603,135	16,564,803	38,332
基本財産合計	16,603,135	16,564,803	38,332
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,778,430	1,827,560	△ 49,130
周年記念事業引当資産	3,701,948	3,501,948	200,000
事業収入変動引当資産	0	0	0
普及啓発強化引当資産	147,532	147,184	348
特定資産合計	5,627,910	5,476,692	151,218
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	22,231,045	22,041,495	189,550
資産合計	27,751,018	26,143,592	1,607,426
II 負債の部			
1. 流動負債			
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,778,430	1,827,560	△ 49,130
固定負債合計	1,778,430	1,827,560	△ 49,130
負債合計	1,778,430	1,827,560	△ 49,130
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	25,972,588	24,316,032	1,656,556
(うち基本財産への充当額)	16,603,135	16,564,803	38,332
(うち特定資産への充当額)	5,627,910	5,476,692	151,218
正味財産合計	25,972,588	24,316,032	1,656,556
負債及び正味財産合計	27,751,018	26,143,592	1,607,426

正味財産増減計算書内訳表

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等会計	法人会計	合 計
	普及啓発 事業	講習等 事業	小 計	テキスト等 販売事業		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益					38,332	38,332
基本財産受取利息					38,332	38,332
特定資産運用益					11,907	11,907
特定資産受取利息					11,907	11,907
受取会費					3,629,200	3,629,200
受取正会員会費					3,629,200	3,629,200
事業収益		36,829,881	36,829,881	5,738,250		42,568,131
準備講習会事業収益		5,330,370	5,330,370			5,330,370
テキスト販売事業収益				4,483,100		4,483,100
点検済証販売収益				823,900		823,900
保安講習事業収益		31,499,511	31,499,511			31,499,511
全国危険物安全協会受託収益				431,250		431,250
受取補助金等	743,750		743,750			743,750
受取全危協助成金	428,000		428,000			428,000
受取全危協奨励金	315,750		315,750			315,750
受取関危連助成金						0
負 担 金					2,026,000	2,026,000
研修会等負担金					2,026,000	2,026,000
雑収益					52,067	52,067
受取利息					12,067	12,067
雑収益					40,000	40,000
経常収益計	743,750	36,829,881	37,573,631	5,738,250	5,757,506	49,069,387
(2) 経常費用						
事業費	1,474,738	19,262,011	20,736,749	4,369,599		25,106,348
防災思想普及啓発事業費	1,474,738		1,474,738			1,474,738
表彰費	782,386		782,386			782,386
事務費	15,389		15,389			15,389
印刷製本費	358,600		358,600			358,600
謝金	95,685		95,685			95,685
旅費交通費	12,216		12,216			12,216
通信運搬費	110,462		110,462			110,462
普及啓発強化助成費	0		0			0
普及啓発協賛金	100,000		100,000			100,000
準備講習会事業費		3,262,831	3,262,831			3,262,831
旅費交通費		238,800	238,800			238,800
事務費		532,603	532,603			532,603
食糧費		101,983	101,983			101,983
賃借料		432,366	432,366			432,366
謝金		1,512,000	1,512,000			1,512,000
賃金		0	0			0
受付事務費		147,675	147,675			147,675
租税公課		297,404	297,404			297,404
保安講習事業費		15,999,180	15,999,180			15,999,180
旅費交通費		359,314	359,314			359,314
事務費		2,491,635	2,491,635			2,491,635
食糧費		142,502	142,502			142,502
賃借料		963,806	963,806			963,806

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等会計	法人会計	合 計
	普及啓発 事業	講習等 事業	小 計	テキスト等 販売事業		
謝金		506,000	506,000			506,000
教材費		9,163,776	9,163,776			9,163,776
実施事務費		995,700	995,700			995,700
租税公課		1,376,447	1,376,447			1,376,447
テキスト販売事業費				3,374,815		3,374,815
テキスト購入費				2,396,196		2,396,196
販売協力費				139,287		139,287
賃借料				112,068		112,068
賃金				160,000		160,000
事務費				309,079		309,079
租税公課				258,185		258,185
地下タンク等定期点検促進事業費				994,784		994,784
売りさばき金納付支出				875,875		875,875
事務費				5,115		5,115
旅費交通費				7,630		7,630
謝金				38,400		38,400
租税公課				67,764		67,764
管理費	396,626	15,452,300	15,848,926	1,294,494	5,163,063	22,306,483
事務管理費	396,626	15,452,300	15,848,926	1,294,494	1,837,943	18,981,363
給料手当	256,548	11,926,732	12,183,280	1,009,302	377,398	13,569,980
退職給付費用	8,901	405,014	413,915	13,352	17,803	445,070
福利厚生費	47,801	2,174,962	2,222,763	95,603	71,702	2,390,068
旅費交通費					154,854	154,854
事務費	36,945	295,562	332,507	36,945	369,452	738,904
賃借料	46,431	650,030	696,461	139,292	92,861	928,614
謝金					220,000	220,000
租税公課					70,000	70,000
交際費					459,682	459,682
支払利息					4,191	4,191
会議費					2,970,120	2,970,120
総会費					495,050	495,050
理事会費					160,795	160,795
研修費					2,314,275	2,314,275
分担金					355,000	355,000
分担金					355,000	355,000
減価償却費					0	0
経常費用計	1,871,364	34,714,311	36,585,675	5,664,093	5,163,063	47,412,831
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,127,614	2,115,570	987,956	74,157	594,443	1,656,556
評価損益等計						0
当期経常増減額	△ 1,127,614	2,115,570	987,956	74,157	594,443	1,656,556
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						0
(2) 経常外費用						0
当期経常外増減額						0
当期一般正味財産増減額	△ 1,127,614	2,115,570	987,956	74,157	594,443	1,656,556
一般正味財産期首残高			4,869,510	10,755,910	8,690,612	24,316,032
一般正味財産期末残高			5,857,466	10,830,067	9,285,055	25,972,588
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
III 正味財産期末残高			5,857,466	10,830,067	9,285,055	25,972,588

令和 8 年度 事業計画・収支予算

令和 8 年度 事業計画

(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日)

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

危険物に係る安全管理思想の啓発及び普及を図るため、次の事業を行う。

ア 啓発資料（機関誌）の発行

イ ホームページによる防災思想の啓発

ウ 危険物安全管理思想の普及啓発を行う団体への助成

※令和 8 年度の危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業については休止

エ 優良危険物事業所等の表彰

オ その他防災思想普及啓発のための事業

(2) 講習等事業

危険物取扱者の資質向上や育成を促進するなど危険物の安全管理体制の確立に寄与するため、次の事業を行う。

ア 危険物取扱者試験準備講習会事業

(ア) 甲種 (3 回)

(イ) 乙種第 4 類 (14 回、うち試験直前講習 (1 日講習) を 3 回実施)

(ウ) 全危協が実施する「オンライン講座 (乙種第 4 類)」の事務を受託

イ 危険物取扱者保安講習

(ア) 会場における対面講習 給油取扱所 (9 回) その他施設 (13 回)

(イ) オンラインによる講習 給油取扱所 (3 回) その他施設 (4 回)

(ウ) 「全危協オンライン保安講習」に係る「広報に係る事務」を受託

2 収益事業

危険物取扱者試験準備講習会のためのテキスト販売や、地下タンク等定期点検を促進するための点検済証販売などの事業を行う。

(1) 危険物取扱者試験準備用テキストの販売

(2) 地下タンク等点検済証の販売

3 法人会計

その他連合会の目的を達成するために必要な事業を行う。

(1) 諸会議の開催

ア 総会・理事会等の開催

イ 研修会の開催

(2) 県内関係団体との緊密な連携

埼玉県、県内各消防本部及び関係団体との連携を密にし、連合会事業の円滑な推進を図る。

(3) 他団体との連携・協力

ア 一般財団法人全国危険物安全協会との連携・協力

イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会との連携・協力

(4) 公益法人法の改正に対する対応

令和 7 年 4 月に施行された公益法人法改正に適切に対応していく。

令和 8 年 度 収 支 予 算

(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益			40,000	40,000
基本財産積立預金受取利息			40,000	40,000
特定資産運用益			13,000	13,000
特定資産受取利息			13,000	13,000
受取会費			3,602,000	3,602,000
受取正会員会費			3,602,000	3,602,000
事業収益	33,743,000	5,437,000		39,180,000
準備講習会事業収益	5,339,000			5,339,000
テキスト販売事業収益		4,267,000		4,267,000
点検済証販売収益		770,000		770,000
保安講習事業収益	28,404,000			28,404,000
全国危険物安全協会受託収益		400,000		400,000
受取補助金等	743,000		10,000	753,000
全国危険物安全協会助成金	428,000			428,000
全国危険物安全協会奨励金	315,000			315,000
関危連助成金			10,000	10,000
負担金			2,150,000	2,150,000
研修会等負担金			2,150,000	2,150,000
雑収益			52,000	52,000
受取利息			12,000	12,000
雑収益			40,000	40,000
経 常 収 益 計	34,486,000	5,437,000	5,867,000	45,790,000
(2) 経常費用				
事業費支出	19,598,000	4,049,000	0	23,647,000
防災思想普及啓発事業費	1,599,000			1,599,000
準備講習会事業費	3,172,000			3,172,000
保安講習事業費	14,827,000			14,827,000
テキスト販売事業費		3,133,000		3,133,000
地下タンク等定期点検促進事業費		916,000		916,000
管理費支出	15,823,000	1,291,000	5,009,000	22,123,000
事務管理費	15,823,000	1,291,000	1,594,000	18,708,000
給料手当	12,029,000	1,005,000	369,000	13,403,000
退職金給付費用	541,000	17,000	23,000	581,000
福利厚生費	2,301,000	99,000	74,000	2,474,000
その他事務管理費	952,000	170,000	1,128,000	2,250,000
会議費			3,060,000	3,060,000
分担金			355,000	355,000
減価償却費			0	0
経 常 費 用 計	35,421,000	5,340,000	5,009,000	45,770,000
当期経常増減額	△ 935,000	97,000	858,000	20,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額				20,000
一般正味財産期首残高				25,972,588
一般正味財産期末残高				25,992,588
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				25,992,588

(注) 1.借入金限度額 2,000,000円 2. 債務負担額 373,560円

会 員 名 簿

令和8年7月1日現在

No.	協 会 名	代表者(会員)氏名	〒	所 在 地	電話番号
1	(公社)さいたま市防火安全協会	清 宮 治 樹	330-0834	さいたま市大宮区天沼町1-893	048-640-3011
2	(公社)川口市防火安全協会	増 田 学	333-0848	川口市芝下2-1-1	048-261-8375
3	比企地区危険物防火安全協会	金 子 和 義	355-0073	東松山市上野本1300-1	0493-23-2268
4	上尾伊奈防火安全協会	倉 持 雄 二	362-0013	上尾市上尾村537	048-775-1314
5	所沢市防火安全協会	小 泉 栄	359-1118	所沢市けやき台1-13-11	04-2929-9121
6	児玉郡市防火安全協会	入 基 弘	367-0035	本庄市西富田904-3	0495-24-8392
7	川越地区危険物防火安全協会	山 口 佳 郎	350-0841	川越市御成町1-1	049-222-0744
8	羽生市危険物防火安全協会	長 島 清	348-0065	羽生市藤井下組990-1	048-565-1234
9	飯能市防火安全協会	豊 田 義 継	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221
10	深谷寄居防火安全協会	伊 藤 文 一	366-0029	深谷市上敷免858	048-571-0913
11	熊谷市防火安全協会	加 藤 博 也	360-0811	熊谷市原島675-1	048-501-0118
12	狭山市防火安全協会	服 部 弘 治	350-1333	狭山市上奥富1172	04-2953-7113
13	鴻巣市防火安全協会	久 保 田 英 治	365-0062	鴻巣市箕田1638-1	048-597-2005
14	行田市防火安全協会	小 川 貢 三 郎	361-0023	行田市長野4389-1	048-550-2122
15	朝霞市防火安全協会	小 寺 崇 夫	351-0023	朝霞市溝沼1-2-27	048-463-1190
16	西入間広域危険物防火安全協会	麻 原 正 男	350-0441	入間郡毛呂山町岩井2451	049-295-0254
17	幸手市危険物防火安全協会	手 島 幸 成	340-0114	幸手市東4-5-10	0480-42-9118
18	越谷市防火安全協会	関 森 初 義	343-0025	越谷市大沢2-10-15	048-974-0103
19	杉戸町危険物防火安全協会	高 館 武 彦	345-0024	北葛飾郡杉戸町堤根4750-1	0480-33-6010
20	春日部市危険物防火安全協会	寛 田 吉 一	344-0035	春日部市谷原新田2097-1	048-738-3117
21	加須市危険物防火安全協会	安 類 正 美	347-0011	加須市北小浜780-1	0480-61-1012
22	草加市防火協会	田 村 研 二	340-0802	八潮市鶴ヶ曽根1185	048-996-0660
23	久喜地区防火安全協会	小 嶋 明 夫	346-0021	久喜市上早見396	0480-21-2712
24	戸田市防火安全協会	中 島 直 人	335-0021	戸田市新曽1875-1	048-420-2125
25	秩父防火安全協会	宮 前 隆 一	368-0021	秩父市下宮地町10-25	0494-21-0121
26	蕨防火協会	渡 邊 和 政	335-0005	蕨市錦町5-1-22	048-441-0174
27	吉川松伏防火安全協会	菅 野 善 男	342-0016	吉川市会野谷481	048-982-3919
28	新座市防火安全協会	並 木 重 和	352-0011	新座市野火止2-9-45	048-478-1311
29	和光市防火安全協会	富 岡 健 治	351-0106	和光市広沢1-3	048-461-7850
30	志木市保安防火安全協会	高 橋 英 明	353-0004	志木市本町1-3-1	048-472-0812
31	三郷市防火安全協会	市 川 文 雄	341-0038	三郷市中央5-45-4	048-952-1298
32	八潮市防火安全協会	来 昌 伸	340-0802	八潮市鶴ヶ曽根1185	048-996-0660
33	入間市防火安全協会	小 林 昌 幸	358-0026	入間市小谷田581	04-2962-7257
34	入間東部地区防火安全協会	大 曾 根 豊	356-0058	ふじみ野市大井中央1-1-19	049-261-6007
35	蓮田市防火安全協会	高 橋 賢 司	349-0133	蓮田市閨戸178-1	048-768-1109
36	北本市防火安全協会	荒 井 貞 雄	364-0032	北本市緑3-396	048-592-5005
37	桶川市防火安全協会	青 木 健 志	363-0011	桶川市北1-25-23	048-773-1190
38	坂戸・鶴ヶ島防火安全協会	梅 澤 將 明	350-0221	坂戸市鎌倉町16-16	049-281-3117
39	白岡市防火安全協会	黒 須 大 一 郎	349-0214	白岡市寺塚162-1	0480-92-1502
40	日高市防火安全協会	鎌 田 正 照	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221

役 員 名 簿

令和8年7月1日現在

役職名	氏 名	所 属			役職名
		ブロック	所 属		
名誉会長	大 野 元 裕	－	埼 玉 県		知 事
顧 問	武 澤 安 彦	－	埼 玉 県 危 機 管 理 防 災 部		部 長
顧 問	齋 藤 美 久	－	埼 玉 県 危 機 管 理 防 災 部 消 防 課		課 長
顧 問	和 田 浩 司	－	埼 玉 県 消 防 長 会		会 長
会 長	小 寺 崇 夫	2	朝 霞 市 防 火 安 全 協 会		会 長
副 会 長	高 橋 賢 司	4	蓮 田 市 防 火 安 全 協 会		会 長
副 会 長	入 基 弘	3	児 玉 郡 市 防 火 安 全 協 会		会 長
副 会 長	麻 原 正 男	2	西 入 間 広 域 危 険 物 防 火 安 全 協 会		会 長
副 会 長	青 木 健 志	1	桶 川 市 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	久 保 田 英 治	1	鴻 巣 市 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	長 島 清	4	羽 生 市 危 険 物 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	伊 藤 文 一	3	深 谷 寄 居 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	小 川 貢 三 郎	3	行 田 市 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	黒 須 大 一 郎	4	白 岡 市 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	並 木 重 和	2	新 座 市 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	小 嶋 明 夫	4	久 喜 地 区 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	高 橋 英 明	2	志 木 市 保 安 防 火 安 全 協 会		会 長
理 事	清 宮 治 樹	1	(公社) さいたま市防火安全協会		会 長
理 事	渡 邊 和 政	1	蕨 防 火 協 会		会 長
常務理事	杉 野 勝 也	－	(公社) 埼玉県危険物安全協会連合会		事務局長
監 事	中 島 直 人	1	戸 田 市 防 火 安 全 協 会		会 長
監 事	田 村 研 二	4	草 加 市 防 火 協 会		会 長
監 事	大 曾 根 豊	2	入 間 東 部 地 区 防 火 安 全 協 会		会 長

令和8年度 危険物取扱者保安講習のご案内（9月以降）

危険物の取扱作業の保安に関する講習を実施しますので、受講対象者は必ず受講してください。

会場開催 講習日・講習会場・定員

種 別	講 習 日 時	講 習 会 場	定員
給油取扱所	9月16日(水)13:00-16:00	春日部市民文化会館 小ホール	400
	9月17日(木)13:00-16:00	川越西文化会館	340
	9月25日(金)13:00-16:00	熊谷市立文化センター文化会館	500
	12月 3日(木) 9:30-12:30	埼玉会館 小ホール	500
	2月18日(木) 9:30-12:30	埼玉会館 小ホール	500
その他の施設	10月19日(月)13:00-16:00	川越西文化会館	340
	10月21日(水)13:00-16:00	熊谷市立文化センター文化会館	500
	11月10日(火)13:00-16:00	朝霞市民会館ゆめばれす 中ホール	430
	11月11日(水)13:00-16:00	サンシティ越谷市民 小ホール	480
	12月 3日(木)13:30-16:30	埼玉会館 小ホール	500
	1月27日(水)13:00-16:00	さいたま市文化センター	340
	2月18日(木)13:30-16:30	埼玉会館 小ホール	500

申込み方法 (1)埼玉県電子申請・届出サービスを利用した電子申請＋電子収納による申込み
(2)各地区協会窓口での申請書＋納付書兼領収書（金融機関で支払）による申込み

オンライン 自宅や職場のPC等を使用して受講できます。

種 別	講 習 期 間	申込み期間	定員
給油取扱所	12月8日(火)から令和9年1月7日(木)	11月9日(月)から11月13日(金)	100
その他の施設			200
給油取扱所	2月2日(火)から3月1日(月)	1月4日(月)から1月8日(金)	100
その他の施設			200

申込み方法 埼玉県危険物安全協会連合会ホームページ <http://www.saikiren2007.or.jp/>
又は全国危険物安全協会ホームページ <https://www.zenkikyo.or.jp/>
でご確認ください。

令和8年度 危険物取扱者試験準備講習会のご案内（8月以降）

講習日・講習会場・定員

種別	講 習 日	講 習 会 場	定員
甲種	8月20日(木)、21日(金)	埼玉県県民活動総合センター	60
	1月23日(土)、24日(日)	埼玉県県民活動総合センター	60
乙種第4類	9月 3日(木)、 4日(金)	川越西文化会館	60
	9月 5日(土)、 6日(日)	埼玉県防災学習センター	72
	10月15日(木)、16日(金)	川越西文化会館	60
	10月24日(土)、25日(日)	朝霞市民会館ゆめばれす 中ホール	60
	2月13日(土)、14日(日)	朝霞市産業文化センター	60
	2月20日(土)（一日講習）	埼玉県県民活動総合センター	60

一日講習は主に例題を解いていく講習内容となります。

申込み方法 (1)埼玉県危険物安全協会連合会ホームページからインターネット申込み
(2)各地区協会窓口での申込み（受講料等現金支払）